

平成30年度いわて復興未来塾（県内）開催実績

| | 日程 | 会場 | テーマ／講師・パネリスト |
|-----------|------------------|--|--|
| 第1回 ※① | H30.7.17 (火) | アイーナ いわて県 民情報交流センター (参加者 約 310名) | <p>基調報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東日本大震災津波からの復興の歩み ～津波常襲地域に、人と自然が調和する生活、生産、学びの場をつくる～」 達増 拓也（岩手県知事） ・「釜石市の復興状況について」 野田 武則 氏(釜石市長) <p>講評 Arnold Howitt 氏 (ハーバード大学ケネディ行政大学院アッシュセンター顧問)</p> <p>事例報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東日本大震災を教訓とした地域防災への取り組み」 越野 修三 氏(元岩手県防災危機管理監/岩手大学客員教授) ・「三陸鉄道 復旧・復興の歩み」 望月 正彦 氏(前三陸鉄道株式会社代表取締役社長) ・「危機管理と防災：東日本大震災から得た教訓 あの時、今、そしてこれから」 神谷 未生 氏(一般社団法人おらが大槌夢広場 事務局長) <p>講評 Arjen Boin 氏(ライデン大学政治学研究所教授)</p> <p>総合司会 坂口 奈央 氏(東北大学大学院在籍/元いわてめんこいテレビアナウンサー)</p> |
| 第2回 | H30.9.16 (日) | 釜石情報交流センタ ー 釜石PIT (参加者 約 120名) | <p>基調報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SDGsを考える～持続可能な地域づくり～」 黒田 かおり 氏 (一般財団法人CSOネットワーク事務局長・理事) <p>パネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> 「持続可能な地域づくり」 ・ コーディネーター兼パネリスト 石井 重成 氏 (釜石市総務企画部オープンシティ推進室長) ・ パネリスト 平館 豊 氏 (RAY LAB合同会社 代表社員 CEO) 菅野 祐太 氏(認定NPO法人力タリバ東北復興事業部ディレクター) 細江 絵梨 氏(釜石ローカルベンチャー/一般社団法人根浜MIND) ・ パネリスト 黒田 かおり 氏 (基調報告者) |
| 第3回 ※② | H30.12.16 (日) | エスピワールいわて (参加者 約 120名) | <p>基調報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害民俗学」の果たすべき役割 畠中 章宏 氏(民俗学者) <p>パネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> 「未来のための伝承・発信」 ・ パネリスト 森本 晋也 氏 (岩手大学教育学研究科准教授) 柴山 明寛 氏 (東北大学災害科学国際研究所准教授) 田中 美咲 氏 (一般社団法人防災ガール代表理事) ・ コーディネーター 江幡 平三郎氏 (株式会社IBC 岩手放送) |

※① 国際防災・危機管理研究 岩手会議」と併催

※② 平成30年度いわて三陸復興県内フォーラム、「いわての復興を自治の進化に」第6回シンポジウムと併催

平成 30 年度いわて三陸復興フォーラム（県外）開催実績

| | |
|------|---|
| | いわて三陸復興フォーラム in 埼玉（埼玉県） |
| 日時 | 平成 30 年 11 月 17 日（土） 13：30～16：00 |
| 場所 | ホテルラフレさいたま（埼玉県さいたま市） |
| 開催形態 | 主催：岩手県 後援：埼玉県、復興庁、さいたま市、テレビ埼玉、埼玉新聞社 協力：浦和レッドダイヤモンズ、埼玉西武ライオンズ |
| テーマ | 三陸の「今」を伝える、三陸の「未来」とつながる |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○知事対談 「東日本大震災の教訓を未来へ」 上田 清司（埼玉県知事） 達増 拓也（岩手県知事） ○パネルディスカッション 「三陸とつながる、地域間の交流を深める」 <ul style="list-style-type: none"> ◆コーディネーター 藤沢 烈（一般社団法人 RCF 代表理事） ◆パネリスト 手塚 さや香（釜石リージョナルコーディネーター協議会（釜援隊）） 柳澤 亮（特定非営利活動法人遠野まごころネット理事） 越戸 浩貴（一般社団法人マルゴト陸前高田理事） 中村 一郎（三陸鉄道株式会社代表取締役社長） ○クロージング 近藤 伸一（浦和レッドダイヤモンズホームタウン・普及部本部長付アドバイザー） 内館 秀樹（浦和レッドダイヤモンズ育成コーチ） |
| 参加者数 | 約 300 人 |

平成30年度

第1回

いわて復興未来塾

東日本大震災津波から学ぶ



参加無料
定員 150名
どなたでも
参加できます!!

併催：国際防災・危機管理研究 岩手会議

～第1部全体会～

14:00～14:05

開会

14:05～15:30

基調報告

東日本大震災からの復旧と復興

岩手県知事

達増 拓也

釜石市長

野田 武則 氏

■講評：Arnold Howitt 氏

(ハーバード大学ケネディ行政大学院アッシュセンター顧問)

～第2部分科会～

16:00～17:30

事例報告

危機管理と防災 東日本大震災から得た教訓

越野 修三 氏 (岩手大学地域防災研究センター客員教授)

望月 正彦 氏 (前三陸鉄道(株)代表取締役社長)

神谷 未生 氏 ((一社)おらが大槌夢広場 事務局長)

■講評：Arjen Boin 氏 (ライデン大学政治学研究所教授)

17:30

閉会

■総合司会

坂口 奈央 氏 (元岩手めんこいテレビアナウンサー)

平成30年 7月17日 (火)
14:00～17:30(予定)

アイーナ(いわて県民情報交流センター) 7階
小田島組☆ほ～る

<アイーナいわて県民情報交流センター>

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

TEL 019-606-1717 / FAX 019-606-1716

交通アクセス 盛岡駅より徒歩4分、盛岡ICより車で8分

「国際防災・危機管理研究 岩手会議」

「国際防災・危機管理研究 岩手会議」は、岩手大学、ハーバード大学、中国清华大学が主催する国際会議で、世界の防災、危機管理に関する専門家が集まり、大規模災害の様相、緊急対応、地域力など地域復興に関する各国の知見や成果を発表、共有するとともに、広く国内外に向けて東日本大震災を経験した岩手から発信していくものです。

今回の「いわて復興未来塾」は、「国際防災・危機管理研究 岩手会議」の一般向け公開プログラムとして開催されるものです。

<https://inds-iwate.org>

主催：いわて未来づくり機構

お問い合わせ：岩手県復興局復興推進課 TEL:019-629-6945 FAX:019-629-6944 E-mail:AJ0001@pref.iwate.jp



達増拓也
(岩手県知事)



野田武則氏
(釜石市長)

いわて復興未来塾とは

東日本大震災津波からの復興を力強く進めていくためには、復興を担う個人や団体など多様な主体が、復興について幅広く教え合い、学び合うとともに、相互に交流や連携をしながら、復興の推進に生かしていくことが求められます。

このため、岩手県内の産学官の連携組織「いわて未来づくり機構」は、「未来づくり=人づくり」との考え方のもと、「いわて復興未来塾」を開催しています。



越野修三氏（岩手大学地域防災研究センター客員教授）
青森県弘前市出身。1973年防衛大学校卒業。1995年阪神淡路大震災の際に、陸上自衛隊第13師団作戦部長として神戸市で救援活動にあたる。退官後、岩手県庁入り。県総合防災室防災危機管理監を務めていた2011年3月11日、東日本大震災に遭遇し、県災害対策本部支援室を指揮・統括する。2013年から岩手大学地域防災研究センター教授として防災危機管理に係わる人材育成に取り組み、2018年3月に定年退職。同4月から防災危機管理アドバイザーとしても活動中。



望月正彦氏（前三陸鉄道株式会社代表取締役社長）

岩手県花巻市出身。1974年岩手県庁入庁後、盛岡地方振興局などを歴任。2010年6月、三陸鉄道社長就任。その9ヵ月後に東日本大震災津波で壊滅的な被害を受けた。震災後わずか5日後に北リニア線の久慈一陸中野田間を開通再開、運休した沿岸部の鉄道では初めての運転再開であった。3年後の2014年4月に北リニア線、南リニア線の全線で運転再開にこぎつけた。



神谷未生氏（一般社団法人おらが大槌夢広場 事務局長）

名古屋市出身。高校卒業後、米国の大学へ留学。卒業後、米国にて正看護師となり、米国大学病院勤務、海外派遣医療団を経験。その後、青年海外協力隊となり途上国での医療に携わる。東日本大震災直後から、国際NGO職員として大槌町で物資配給の緊急支援など復興支援にあたる。その後、ロンドン大学大学院にて国際公衆衛生修士号取得。現在は、（一社）おらが大槌夢広場で事務局長。海外からの視察等の受け入れ、アテンド等も担当。



Arnold Howitt氏
(ハーバード大学ケネディ行政学院アッシュセンター顧問)

ハーバード大学で博士号(政治学)を取得。これまで、行政機関、各種民間団体等の防災・危機管理および災害復興に関する研究、危機管理プログラムの開発に従事。合衆国連邦緊急事態管理庁や国土安全保障省の各種研修創設および講師として尽力してきた。また上海や北京など中国の危機管理教育にも関わっている。東日本大震災の災害対応について岩手県へ調査で訪れている。



Arjen Boin氏
(ライデン大学政治学研究所教授)

米国ルイジアナ州立大学公共政策研究所准教授、ユトレヒト大学教授を歴任。現在はオランダのライデン大学政治学研究所の教授として公共政策、ガバナンスなどを調査・研究している。ライデン大学で博士号を取得。危機管理や災害対応、リーダーシップ、組織のあり方など幅広いトピックについて発表している。行政学では著名な専門誌である「Public Administration」の編集者を務めた経験があり、危機管理に関する雑誌編集にも関わっている。



坂口奈央氏
(東北大大学院在籍/元岩手めんこいテレビアナウンサー)

静岡県富士市出身。災害や事件事故など現場から中継を担当するとともに、東日本大震災津波での被災地取材がきっかけとなり、災害復興学の確立を目指し、現在、東北大大学院博士後期課程に所属。復興まちづくり(防潮堤や震災遺構)における住民の論理説明を研究中。大槌町地域アドバイザーや震災記録の監修などコミュニティ再生や伝承に関する活動も行っている。

塾に関する情報はこちらからもご覧いただけます。

ご使用の携帯電話からご覧いただけない場合は、パソコンなどで、
<http://www.pref.iwate.jp/fukkounougoki/event/065116.html>
をご覧ください。



いわて震災津波アーカイブ～希望～

20万点を超える資料を検索・閲覧できます。
<http://iwate-archive.pref.iwate.jp/>
をご覧ください。



お申込み方法

下記のいずれかの方法で申込みください。

申込期限／7月9日(月)

E-mailでの申込

件名を「第1回いわて復興未来塾」として、下記の必要事項をご記入の上、
申込みください。

- 氏名（ふりがな）
- 所属・団体名等
- 住所
- 電話番号

E-mail

AJ0001@pref.iwate.jp

FAX又は郵送での申込

下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、申込みください。

※郵送の場合は締切日必着でお願いします。

FAX

019-629-6944

平成30年度 第1回 いわて復興未来塾 参加申込書

ふりがな
氏名

〒
住 所

所属・
団体等

TEL
FAX

参加する

参加しない

【お問い合わせ】いわて未来づくり機構（事務局：岩手県復興局復興推進課）
〒020-8570 盛岡市内丸10-1 / TEL : 019-629-6945 / FAX : 019-629-6944 / E-mail : AJ0001@pref.iwate.jp

*ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき、他の用途には一切使用しません。

平成30年度

第2回

いわて復興未来塾

SDGsを考える～持続可能な地域づくり～



平成30年 9月16日 日

14:00～17:00 (予定)

釜石情報交流センター
チームスマイル・釜石PIT

<チームスマイル・釜石PIT>

〒026-0024 岩手県釜石市大町1丁目1-10

TEL 0193-27-8751 / FAX 0193-27-8752

交通アクセス 釜石駅より徒歩10分



会場に関する情報や会場周辺の地図はこちらから
ご覧いただけます。

ご使用の携帯電話からご覧いただけない場合は、パソコンなどで、
<http://kamaishi-pit.team-smile.org/access/index.html>
をご覧ください。



参加無料
定員150名
どなたでも
参加できます!!



14:00～14:05

開会・知事挨拶

14:05～15:05

基調報告

SDGsを考える～持続可能な地域づくり～

黒田 かおり氏 (一般財団法人CSOネットワーク事務局長・理事)

15:15～17:00

パネルディスカッション

持続可能な地域づくり

■コーディネーター兼パネリスト

石井 重成氏 (釜石市総務企画部オープンシティ推進室長)

■パネリスト

平館 豊氏 (RAY LAB合同会社代表社員)

菅野 祐太氏

(認定NPO法人力タリバ東北復興事業部ディレクター)

細江 紗梨氏

(釜石ローカルベンチャー/一般社団法人根浜MIND)

■コメンテーター

黒田 かおり氏 (基調報告者)

17:00

閉会

主催：いわて未来づくり機構

お問合せ：岩手県復興局復興推進課 TEL:019-629-6945 FAX:019-629-6944 E-mail:AJ0001@pref.iwate.jp

| | |
|---|--|
| <p>基調報告</p>  <p>黒田 かおり氏 (一般財団法人CSOネットワーク事務局長・理事)</p> <p>民間企業に勤務後、コロンビア大学経営大学院日本経済経営研究所、アジア財団日本の勤務を経て2004年より現職。2010年よりアジア財団ジャパン・ディレクターを兼任。2007年より2010年までの日本のNGO代表としてISO26000（社会的責任）の策定に参加。現在、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の「持続可能性に配慮した調達コード」WG委員、SDGs推進円卓会議構成員、SDGs市民社会ネットワーク代表理事、日本サッカーアソシエーション社会連携委員会委員等を務める。</p> |  <p>平館 豊氏 (RAY LAB合同会社代表社員CEO)</p> <p>岩手県大槌町出身。 平成11年4月から平成27年3月まで大槌町役場に勤務し、平成27年4月から平成28年6月まで町内ICT関連企業にてマネージャーとして勤務。平成28年7月に独立し、RAY LAB合同会社を設立。岩手県のICTをデザインで変えていく活動をしている。三陸コネクトフェスティバルを主催する三陸聖地化委員会の代表を務める。</p> |
| <p>パネリスト</p>  <p>石井 重成氏 (釜石市総務企画部オープンシティ推進室長)</p> <p>経営コンサルティング会社勤務を経て、岩手県釜石市へ移住。地方創生の戦略立案や官民連携のディレクションを務める。半官半民の地域コーディネーター機関・釜石連携の創設、グローバル金融機関と連携した高校生キャリア教育、広域連携による移住・起業支援プログラムの展開などを通じて、人口減少時代の持続可能な復興まちづくりを推進。本年5月には、「釜石市オープンシティ戦略（まち・ひと・しごと総合戦略）」をSDGsの視点を踏まえて改訂。内閣官房シェアリングエコノミー伝道師、総務省地域情報化アドバイザー。</p> |  <p>菅野 祐太氏 (認定NPO法人カタリバ東北復興事業部ディレクター)</p> <p>2009年、早稲田大学教育学部を卒業。同年、リクルートエージェント（現リクルートキャリア）に入社。祖父母宅が岩手県陸前高田市にあった縁もあり、東日本大震災を機に、2011年9月からラボ・スクール大槌臨学舎の立ち上げに従事。一時、リクルートエージェントに戻るも、2013年4月から、大槌臨学舎の統括担当として勤務。今年度からラボ・スクールの運営とともに、大槌町教育委員会の地域コーディネーターを兼務。学校や地域の中で愛される、新しい形の塾を模索している。</p> |

いわて復興未来塾とは



達増拓也
(岩手県知事)

東日本大震災津波からの復興を力強く進めていくためには、復興を担う個人や団体など多様な主体が、復興について幅広く教え合い、学び合うとともに、相互に交流や連携をしながら、復興の推進に生かしていくことが求められます。

このため、岩手県内の産学官の連携組織「いわて未来づくり機構」は、「未来づくり=人づくり」との考え方のもと、

「いわて復興未来塾」を開催しています。

塾に関する情報はこちらからもご覧いただけます。

ご使用の携帯電話からご覧いただけない場合は、パソコンなどで、
<http://www.pref.iwate.jp/fukkounougoki/event/067363.html>をご覧ください。



いわて震災津波アーカイブ～希望～

20万点を超える資料を検索・閲覧できます。
<http://iwate-archive.pref.iwate.jp/>
をご覧ください。



問い合わせ先

いわて未来づくり機構

(事務局：岩手県復興局復興推進課)
〒020-8570 盛岡市内丸10-1
TEL : 019-629-6945 / FAX : 019-629-6944
E-mail : AJ0001@pref.iwate.jp

申込締切

9月10日(月)

申込方法

下記のいずれかの方法で申込みください。

E-mail で申込み

件名を「第2回いわて復興未来塾」として、下記の必要事項をご記入の上、申込みください。

- 氏名（ふりがな）
- 所属・団体名等
- 住所
- 電話番号
- メールアドレス
- バス利用の有無

E-mail

AJ0001@pref.iwate.jp

FAX又は郵送で申込み

下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、申込みください。

※郵送の場合は締切日必着でお願いします。

FAX

019-629-6944

第2回 いわて復興未来塾 参加申込書

**ふりがな
氏名**

**所属・
団体等**

**〒
住所**

**TEL
FAX**

バス利用の有無 (どちらかに○をつけてください)

利用する (乗車場所 盛岡駅西口 ／ 県庁) • **利用しない**

※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき、他の用途には一切使用しません。

各会場等

会場等の地図は下記URL、QRコードからご覧いただけます。

【全体会、内陸報告会会場】



エスパワールいわて

岩手県盛岡市中央通1-1-38
TEL 019-623-6251

<http://espoir-iwate.com/access/>

【沿岸報告会会場】

イーストピアみやこ

岩手県宮古市宮町1-1-30
TEL 0193-63-4166

<https://eastpia-miyako.jp/access/index.html>

【宮古地区集合場所】

宮古地区合同庁舎

岩手県宮古市五月町1-20
TEL 0193-64-2211

<http://www.pref.iwate.jp/shisetsu/kankouchou/015817.html>



いわて震災津波アーカイブ～希望～

20万点を超える資料を検索・
閲覧できます。
<http://iwate-archive.pref.iwate.jp/>



「Fw:東北Weekly 特別編」

に関する情報は、こちらからご覧
いただけます。
https://www.newtohoku.org/works_repo_rt/works_detail_033.html



問い合わせ先

岩手県復興局復興推進課

〒020-8570 盛岡市内丸10-1
TEL : 019-629-6945
FAX : 019-629-6944
E-mail : AJ0001@pref.iwate.jp

申込方法

下記のいずれかの方法で申込みください。

E-mail で申込み

件名を「いわて三陸復興フォーラム」として、
下記の必要事項をご記入の上、申込みください。

■ 氏名（ふりがな） ■ 所属・団体名等
■ 住所 ■ 電話番号
■ メールアドレス ■ 参加希望の会名

FAX 又は郵送で申込み

下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、
申込みください。

※郵送の場合は締切日必着でお願いします。

申込締切

平成30年12月10日(月)

E-mail AJ0001@pref.iwate.jp

FAX 019-629-6944

平成30年度 いわて三陸復興フォーラム 参加申込書

ふりがな
氏 名

所属・
団体等

〒

住 所

TEL

FAX

参加希望の会（希望するものに○をつけてください）

| 開催日 | 項目 | 参 加 | | | | |
|------------------------|----------------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------|-----------------------------|
| 平成30年 12月16日 (日) | 全体会（無料） | <input type="radio"/> | | | | |
| | 交流会（参加費：3,000円） | <input type="radio"/> | | | | |
| 平成30年 12月17日 (月) | 内陸報告会 | <input type="radio"/> | | | | |
| | 集合場所（いずれかに「○」） | 解散場所（いずれかに「○」） | | | | |
| 沿岸報告会 | 盛岡駅西口 バスターミナル (7:45) | 岩手県庁 (8:00) | 宮古地区 合同庁舎 (10:00) | 宮古地区 合同庁舎 (15:40) | 岩手県庁 (17:30) | 盛岡駅西口 バスターミナル (17:45) |
| | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

交流会の参加費（3,000円）は当日会場でお支払い下さい。

※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき、他の用途には一切使用しません。

いわて三陸復興フォーラム



未来のための伝承・発信

～復興の今を伝え、みんなの力で復興を推進～

参加無料
どなたでも
参加できます!!

併催：「いわての復興を自治の進化に」第6回シンポジウム
平成30年度第3回いわて復興未来塾
Fw:東北Weekly特別編

平成30年12月16日

全体会（平成30年度第3回いわて復興未来塾）

時間 14:00～17:00

会場 エスパワールいわて（盛岡市中央通1-1-38）

平成30年12月17日

内陸報告会

時間 13:15～15:45

会場 エスパワールいわて（盛岡市）

沿岸報告会

時間 13:15～15:45

会場 宮古市内、
イーストピアみやこ
(宮古市宮町1-1-30)

主催／岩手県、いわて未来づくり機構

後援／復興庁、岩手県沿岸市町村復興期成同盟会、岩手大学、岩手県立大学、岩手県社会福祉協議会、NPO法人いわて連携復興センター、岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、河北新報社、産経新聞盛岡支局、日本経済新聞社盛岡支局、岩手日日新聞社、デーリー東北新聞社、共同通信社盛岡支局、時事通信社盛岡支局、N H K 盛岡放送局、I B C 岩手放送、テレビ岩手、エフエム岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、盛岡タイムス社、東海新報社、釜石新聞社

問い合わせ先：岩手県復興局復興推進課 TEL:019-629-6945 FAX:019-629-6944 E-mail:AJ0001@pref.iwate.jp

1日目 平成30年12月16日（日）

併催 平成30年度第3回 いわて復興未来塾

全体会

時 間 14:00~17:00
会 場 エスピワールいわて大ホール（定員200名）
テ マ 未来のための伝承・発信



岩手県知事
達増 拓也

| | |
|---------------|-------------|
| 14:00 ~ 14:05 | 開会・知事挨拶 |
| 14:05 ~ 15:05 | 基調講演 |
| 15:15 ~ 17:00 | パネルディスカッション |
| 17:00 | 閉会 |

いわて復興未来塾とは

東日本大震災津波からの復興を力強く進めていくためには、復興を担う個人や団体など多様な主体が、復興について幅広く教え合い、学び合うとともに、相互に交流や連携をしながら、復興の推進に生かしていくことが求められます。このため、岩手県内の産学官の連携組織「いわて未来づくり機構」は、「未来づくり＝人づくり」との考え方のもと、「いわて復興未来塾」を開催しています。

基調講演

畠中章宏氏（民俗学者）



大阪府生まれ。近畿大学法学部を卒業し、平凡社で編集者として勤務後フリーランスとなる。多摩美術大学芸術学部講師、日本大学芸術学部写真学科講師を歴任。民間伝承、宗教彌刻、写真などを対象に日本の心性史を描いている。震災後は特に災害民俗学の研究を行う。著書に「柳田国男と今和次郎 災害に向き合う民俗学」（2011年）、「蚕・絹糸を吐く虫と日本人」（2015年）、「天災と日本人 地震・洪水・噴火の民俗学」、「21世紀の民俗学」（ともに2017年）など多数。2018年7月NHK Eテレ「SWITCHインタビュー」（遠野市）に出演。

総合司会/コーディネーター



江幡平三郎氏
(株式会社IBC岩手放送)

交流会

県・市町村・大学・企業・団体・応援職員OBなど復興に関わる皆様の情報交換の場として交流会を開催します。

- 時 間 17:30~19:00
- 会 場 エスピワールいわて
1階イベントホール
- 参加費 3,000円
- 定 員 50名

パネルディスカッション

森本晋也氏（岩手大学大学院教育学研究科准教授）



1994年から、岩手県内公立中学校社会科教諭として勤務。2010年3月まで釜石東中学校で防災教育を担当し、「EAST-レスキュー」「てんでんこ」等の学習を企画・実践。釜石市防災教育プログラム「津波防災教育のための手引き」の作成メンバー。発災後の2011年4月～8月、大槌町教育委員会で学校再開支援活動に従事。2012年4月から岩手県教育委員会で復興教育・防災教育を担当。2016年4月より現職。

柴山明寛氏（東北大学災害科学国際研究所准教授）



静岡県出身、2006年工学院大学建築学専攻博士課程修了。2007年独立行政法人情報通信研究機構、2008年東北大学災害制御研究センター助教を経て、2012年から東北大学災害科学国際研究所災害アーカイブ研究分野准教授。地震災害を地震工学、地域防災、情報通信などの様々な視点から防災・減災方法を研究。東日本大震災以降、震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」に従事し、震災の復旧復興支援、南海トラフの防災対策、災害記録・記憶の伝承、防災観光に繋げる研究を行っている。IBM Faculty Award 2013、科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（振興部門）（2015年）を受賞。

田中美咲氏（一般社団法人防災ガール代表理事）



1988年生まれ。立命館大学産業社会学部卒業後、株式会社サイバーエージェントに入社。東日本大震災をきっかけとして情報による復興支援を行う公益社団法人に転職。2013年8月に「防災があたりまえの世の中にする」ことをビジョンに「防災ガール」を設立。津波防災の新しい合団であるオレンジフラッグを全国に広める「#beORANGE」を日本財団と共に立ち上げ。東京防災女性版の検討委員。2015年3月に同団体を一般社団法人化。2017年7月より滋賀県長浜市にて、様々な課題を感動や共感を通して伝える株式会社morning after cutting my hair創業、代表取締役兼任。

2日目 平成30年12月17日（月）

内陸報告会

13:20 ~ 14:20

基調講演



上野 善晴（県政顧問）

時 間 13:15~15:45
場 所 エスピワールいわて大ホール（定員200名）

14:35 ~ 15:35 応援職員活動報告

各分野で奮闘する全国自治体からの応援職員による活動報告を行います。

| 発表分野 | 所 属 | 氏 名 (派遣元) | 概 要 |
|-----------|-----------------------|-------------|------------------|
| 「安全」の確保 | 沿岸広域振興局土木部復興まちづくり課 | 紅林 哲（静岡県） | 復旧・復興工事の取組状況等 |
| | 沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター | 林 直文（群馬県） | |
| 「暮らし」の再建 | 保健福祉部子ども子育て支援課 | 山下 香織（奈良県） | 保健福祉、環境分野に関する取組等 |
| | 環境生活部環境生活企画室 | 佐々田 丈瑠（川崎市） | |
| 「なりわい」の再生 | 商工労働観光部経営支援課 | 稻田 存晃（埼玉県） | 商工業、農林水産業の復旧状況等 |
| | 沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター | 野口 陽平（神奈川県） | |

併催 Fw:東北Weekly特別編

沿岸報告会

7:45 ~ 8:00

受付（盛岡駅西口バスターミナル）

8:00 バス①発

8:00 ~ 8:15

受付（岩手県庁）

8:15 バス①発

10:00 ~ 10:15

受付（宮古地区合同庁舎）

10:15 バス②発

10:30 ~ 11:45

一般県道津軽石停車場線
主要地方道重茂半島線堀内～津軽石

長野県応援職員による現場説明・活動報告
宮古土木センター 主査 小柳 德光



12:00 ~ 13:00

昼食・自由行動（イーストピアみやこ）

13:00 ~ 15:00

Fw:東北Weekly特別編（イーストピアみやこ 多目的ホール）
『関係人口×○○で考える三陸の未来』～復興を通じて生まれた関わりあいを深めるには～

テーマ毎に分かれて参加者が関心のある場所でそれぞれ参加型セッションを行います。
▷テーマ1 「関係人口×観光」 ▷テーマ2 「関係人口×インターン・震災後のボランティア・自治体応援職員など(定期的に役割を持って地域に関わりを持った人々)」

15:30 ~ 15:40

バス②移動 宮古地区合同庁舎

15:40 着

15:30 ~ 17:45

バス①移動 岩手県庁
盛岡駅西口バスターミナル 17:30着
17:45着



【注意事項】

- 参加お申し込みの際は、裏面の「参加申込書」によりお申し込みください。
- 当日の道路状況により時間を調整する場合があります。
- 参加の際は、必ず無料送迎バスをご利用ください。（盛岡発のバス①定員30名、宮古発のバス②定員20名）
- 昼食のご用意はありませんので、イーストピアみやこ、宮古駅周辺の飲食店でお取りいただくか、各自でご用意ください。（時間厳守となります。飲食店は混雑することも予想されますので、ご了承ください。）

三陸の「今」を伝える、

いわて三陸 復興 フォーラム in 埼玉

入場無料
定員300名

11.17 土

時間 13:30~16:00(予定)

会場 ホテルラフレさいたま

防災

復興

交流

クロージング

岩手への
応援メッセージ



浦和レッズ 元キャプテン
内館 秀樹さん

選手サイン入りグッズ
抽選会



来場者プレゼント

岩手の
ご当地パンを
プレゼント!



【第1部 知事対談】

岩手県知事

埼玉県知事

達増拓也 × 上田清司



【第2部 パネルディスカッション】

テーマ『三陸とつながる、
地域間の交流を深める』

入場には事前申し込みが必要です。FAX・WEBよりお申し込みください。

いわて三陸復興フォーラム in 埼玉

三陸の「今」を伝える、三陸の「未来」とつながる

第1部 知事対談

テーマ『東日本大震災の教訓を未来へ』



岩手県知事
達増拓也



埼玉県知事
上田清司

第2部 パネルディスカッション

パネリスト

パネリスト

パネリスト

パネリスト



元岩手めんこいテレビ
アナウンサー
坂口 奈央 氏

東北大大学院で災害復興学の確立を目指し、復興まちづくりにおける住民の論理の解明をテーマに研究中。震災記録誌の監修など、伝承に関する活動も行っている。



一般社団法人
RCF代表理事
藤沢 烈 氏

マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て独立し、NPO・社会事業等に特化したコンサルティング会社を経営。東日本大震災後、内閣官房震災ボランティア連携室勤務を経て一般社団法人RCFを設立し、多様な社会課題の解決に取り組んでいる。



釜石リージョナル
コーディネーター協議会(釜援隊)

手塚 さや香 氏

埼玉県出身。全国紙の新聞記者から、東日本大震災の取材をきっかけに、復興支援のため岩手県に移住。「岩手移住計画」を立ち上げ地域と地域の架け橋になっている。



特定非営利活動法人
遠野まごころネット理事

柳澤 亮 氏

川口市の川口銀座商店街に復興応援ショップ「みのりの社中」をオープンし、三陸の特産物の販売などをを通して、三陸の魅力を伝えている。



一般社団法人
マルコト陸前高田理事

越戸 浩貴 氏



三陸鉄道株式会社
代表取締役社長
中村 一郎 氏

農泊など、地域住民との交流を通じた学びを陸前高田から発信し、企業研修や教育旅行を誘致している。移住・定住促進事業も手がけている。

参加のお申し込みは、FAXまたはWEBからお申し込みください。◎申込期限:2018年11月7日(水)

FAX 019-654-4192

WEB <http://www.iwate-fukkou.jp>

日 時 2018.11.17(土) 13:30~16:00(予定)

入場料 無料 定員 300名 ※応募者多数の場合は抽選となります。

問い合わせ いわて三陸復興フォーラム事務局
TEL.019-625-1342

※電話問い合わせ時間

9:00~17:00(土日祝日を除く)

※抽選の結果は開催日の約1週間前に案内状のメールまたはハガキの発送をもってかえさせていただきます。予めご了承ください。



ホテルラフレーサいたま

〒330-0081埼玉県さいたま市中央区新都心3-2
TEL:048-601-1111(代表) FAX:048-600-5501

【電車をご利用の場合】

●JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線／「さいたま新都心」駅下車 徒歩約10分。

●JR埼京線(各駅停車利用)／「北与野」駅下車 徒歩約15分。

※東北・北海道・山形・秋田・上越・北陸新幹線ご利用の方は、「大宮」駅でお乗換えください。

| | | |
|--------------------|--|----------------------|
| お名前 代 表 者 | フリガナ | T E L () - |
| | 〒 <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | |
| ご住所 | | 都道府県 市 区 郡 |
| メール | | |
| 同伴者 お名前 | フリガナ | フリガナ |
| | フリガナ | フリガナ |
| | フリガナ | 参加人数 ※最大4人まで 人 |



三陸防災復興 プロジェクト2019

2019.6.1 [sat] – 8.7 [wed]

三陸がつながる。
日本各地や世界とつながる。
ひとつになって更に前に進む。

Hirono
Kuji
Noda
Fudai
Tanohata
Iwaizumi
Miyako
Yamada
Otsuchi
Kamaishi
Sumita
Ofunato
Rikuzentakata



主催：三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会

事務局：岩手県政策地域部三陸防災復興プロジェクト2019推進課
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11番1号 電話：019-629-6222 Email:ab0012@pref.iwate.jp

三陸防災復興 プロジェクト2019 開催します!

会期

2019年6月1日(土)～8月7日(水)
計68日間

主催

三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会

会場

岩手県沿岸部の13市町村

宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、
釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、
田野畠村、普代村、野田村、洋野町



会期中はイベント盛りだくさん! 岩手・三陸でお待ちしています!



祭り

地域色豊かな伝統芸能が多数伝承されている三陸地域。様々なお祭りが集結したイベントを開催します。



防災復興シンポジウム

震災からの歩みと将来の備えを学ぶシンポジウムを開催し、三陸地域の復興の今を世界に発信します。



観光

特徴的な海岸線が続く三陸海岸。日本最大のジオパーク「三陸ジオパーク」にも認定されています。ドライブはもちろん、観光やアクティビティも体験できます。



音楽

復興支援を通じて、地元の住民と交流が生まれた、世界的に有名な音楽家のコンサートを開催します。



三陸鉄道

三陸沿岸を北から南までつなぐ三陸鉄道。
(2019年3月全線開通予定です。)
列車の旅を楽しむイベントを開催します。



食

三陸沖は世界三大漁場の一つに数えられ、新鮮な魚介が魅力の一つです。三陸の海の幸を味わうイベントを開催します。

詳細情報はWEBで随時更新

三陸防災復興プロジェクト2019

検索